

双葉郡において必要とされる医療・介護の検討について（二次医療 1）

◎ 医療需要

1 医療需要の見込み

第2回検討会での合意を踏まえ、双葉郡の二次医療を検討していく上での、医療需要を次の考え方にに基づき推計する。

(1) 推計の考え方

- ・ 双葉郡8町村の住民意向調査（平成26年度実施）の結果を踏まえ、推計する。（戻りたい100%+判断がつかない50%算入）
- ・ 廃炉作業員を見込む。
- ・ 除染及びインフラ復旧作業員を見込む。
- ・ その他、復興事業関連の研究者、企業人等も医療需要の基礎として考えることができる。

(2) 医療需要（基礎）の推計

事 項	推計値等（概数） 〔単位：人〕	備 考
帰還住民（推計）	26,000	徐々に増加
廃炉作業員（27年12月時点）	7,000	
除染及びインフラ復旧作業員（27年10月時点）	19,000	事業の進捗で増減
その他（復興事業関連の研究者、企業人等）	0	拠点事業の進展により増加（現時点では見込まず）
計	26,000～52,000	

2 まとめ（医療需要）

『あくまで、当検討会においての双葉郡の二次医療を考える上での医療需要の推計であり、今後、この地域において約5万人規模のまちが形づくられることと想定する。』

※サービス施設の立地確率（50%－80%）となる人口規模（出典：国交省「国土のグランドデザイン2050」）では、人口17,500人超の自治体には病院立地は80%超。



推計値を踏まえた二次医療の推進
（病院の規模・機能の根拠）